

とっとり県政だより

2021(令和3)年2月号 通巻730号 毎月1日発行 各世帯配布

2021

SDGsの17ゴールのフラッグ(旗)を鳥取駅前メイン通りに掲げ、SDGsについて知ってもらい取り組みを実施(とっとりSDGsネットワーク)



目次

P2 特集

**意識と行動を変え、
未来へつなぐ**
～暮らしの中にあるSDGs～

P5 県政トピックス

- 特色生かし魅力ある高校へ
- 共同参画への計画策定

谷口ジロー漫画家デビュー50年記念原画展

世界が認めた漫画の巨匠・谷口ジロー氏の原画展を開催中。名作の数々をご堪能ください。

日 2月21日(日)まで(観覧無料)

所 米子市美術館(米子市中町)
ギャラリー鳥たちのいえ(鳥取市本町)

問 県庁まんが王国官房

☎0857-26-7801 F 0857-26-8307

<https://www.pref.tottori.lg.jp/mangaoukoku/taniguchijiro50/>



DATA

県人口/550,873人(男 263,458人、女 287,415人)
世帯数/221,637世帯(2020年12月1日現在推計)

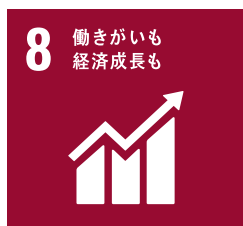
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



意識と行動を変え、 未来へつなぐ

暮らしの中にあるSDGs

エスディーゼーズ
SDGs(※1)は、貧困や地球温暖化など、地球上で起こっているさまざまな問題の解決に向けて、全世界で取り組む目標。一見難しそうなイメージですが、実は目標達成に貢献できる種は、日常の中に散らばっています。すでに実践している企業や、個人でもできる具体的な取り組みを紹介します。



(※1) Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称。持続可能とは、将来にわたってより良い生活を維持していくこと。

身近な活動を知ることから

県は、あらゆる計画にSDGsの視点を取り入れ、環境・経済・社会の3つの側面が調和する施策を展開しようと、昨年4月「とっとりSDGs宣言」を行いました。

また、SDGsに取り組み個人や企業などと一緒に、持続可能な社会を目指す「とっとりSDGsパートナー制度」や官民連携組織「とっとりSDGsネットワーク」も創設。その中から県内事業者2カ所の取り組みを紹介します。

まず、流通株式会社は、使われなくなったランドセルを集めて必要としている人に譲る活動を実施。これ

SDGsとは

SDGsは、2015(平成27)年に開催された「国連持続可能な開発サミット」で、国連加盟国の全会一致で採択されました。理念は「誰一人取り残さない」。「貧困をなくそう」「気候変動に具体的な対策を」などの17のゴール(2頁参照)を目指して、具体的な169のターゲットを設定。地球上で起こっているさまざまな問題を、世界各国が協力し、30年までの解決を目指します。

は、SDGsのゴールの「質の高い教育をみんなに」(4番)と「つくる責任つかう責任」(12番)に該当します(下欄参照)。一方、鳥取県生活協同組合では、ゴールの12番に当たる「エシカル消費」(※2)の推進をはじめ、パートナーシップ(17番)を大切にした事業を展開(4頁参照)。このほかにも県内の多くの企業などがさまざまな方面からSDGsの達成を目指しています。

個人でできることの例は、「電気を節約する」「地元で買い物をする」など。日常生活に簡単に取り入れられる行動が、実はSDGsに貢献するのです(4頁「個人で取り組めるSDGsの実践例」参照)。

このような身近な活動を知り、生活にどう関わり何ができるのか改めて考えてみましょう。今すぐできることが多くあることに気付くはず。一人一人の意識と行動を変えることがSDGsを達成し、未来の地球をつくりまします。

問 県庁新時代・SDGs推進課

☎0857-2679650

📠0857-2698111

📧sdgs@pref.tottori.lg.jp

「モノ」と思い、次の人につなぐ



流通株式会社
フォーオール
「ランドセルFOR ALL」
プロジェクトリーダー
えばら ともみ
江原 朋美さん

当社では、使われなくなったランドセルを回収し、必要としている人に引き継ぐプロジェクト「ランドセルFOR ALL」を実施しました。きっかけは、私が整理収納アドバイザーとして活動する中で、まだ使えるランドセルが依頼者宅に放置されているのを何度も目にしたこと。共通するのが「捨てられない、でも使い道はない」。生かす方法を模索し、昨年5月にプロジェクトを立ち上げました。

県内の事業所に協力してもらい、9カ所に回収ボックスを設置。回収後は、当社の社員がメンテナンスし、よりきれいな状態にして無料で譲渡します。特徴は、メッセージでのつながり。譲る人が受け取る人に向けて、メッセージをカードに書き、ランドセルと一緒に回収ボックスへ。カードには「大切に使ってね」「ランドセルと一緒に楽しい思い出を」などの心温まる言葉の数々。「持ち主の愛情や思いがランドセルと一緒に届くといいな」と思い、発案したものです。



集まったランドセルは6年間使ってもきれいな状態のものが多い(左) 譲り受けるランドセルは、実物を確認して選ぶことができる(右)



集まったランドセルは、予想をはるかに超える約200個。廃棄ではなく「次の人にバトンをつなぐ」ことで、SDGsの目標12番「つくる責任」にも該当するのです。今後は学校で使う絵具道具、リコーダー、鍵盤ハーモニカなども同様に、プロジェクトを考えていきたいですね。

ランドセルを必要としているかた・団体は、下記にお問い合わせください。(回収は終了しました。)

問 流通株式会社(倉吉市巖城)
☎0858-22-1211 📠0858-22-1214

(※2) 環境や社会に配慮した製品やサービスを選んで消費すること。



パートナーシップで 共に歩む

鳥取県生活協同組合
代表理事 専務理事
はせがわ かずし
長谷川 和史さん

当組合は、商品を週1回、消費者に届ける「宅配事業」を展開しています。その中で、実行しやすいSDGsの取り組みとして、商品の購入で環境保全や地域振興につながる「エシカル消費」に力を入れています。これは、消費者が商品を選択するときに地域や環境、社会などの視点を意識することが大切。一人一人が可能な範囲で実行することで、今の世界や未来を変えていくことができます。当組合では、これらの商品の普及や学習会の開催を行っています。

また、さまざまな事業を実施する上で最も大切にしていることは、パートナーシップです。目標の17番にもありますね。これまで定期的に取り組んできた生活困窮者・子ども食堂への食料提供、フードドライブ事業(※3)に加え、コロナ禍に行った大学生や放課後児童クラブへの食品の寄付などの活動は、自治体や民間企業・団体などとの連携を大

エシカル商品の例



主な原料に国産素材を使用している商品に付けられるマーク。購入すれば日本の農業を応援できる(写真提供=鳥取県生活協同組合)



「CO・OPコアノンロール(トイレトーパー)」を1パック購入すると1円が、ユニセフを通じてアンゴラ共和国の「子どもにやさしい学校」づくりに寄付される(写真提供=鳥取県生活協同組合)



切にして進めてきました。多くの人と関わり一緒に活動する中で、新たな気付きや発想が芽生え、次の取り組みが生まれるからです。これからもパートナーシップを大切に、できることから一つずつ積み重ね、歩んでいきます。

(※3) 家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設などに寄付する活動。

個人で取り組めるSDGsの実践例



▶家にいてもできること

- ・小まめに照明を消して電気を節約する
- ・使っていない電気機器はコンセントを抜く
- ・支払いはオンライン決済を利用して紙を節約する
- ・メモや付箋を使って印刷を削減する
- ・持続可能で環境にやさしい取り組みをインターネットで検索する
- ・ティッシュペーパーを使い過ぎない
- ・食べ切れない食材は冷凍する
- ・エアコンの温度は、冬は低め、夏は高めに設定する
- ・紙やプラスチックはリサイクルする

▶家の外でできること

- ・買い物は地元で、地域の企業を応援する
- ・買い物にはマイバッグを持参する
- ・「訳あり品」の購入で食材を無駄にしない
- ・使わないものは寄付する
- ・コーヒーのテイクアウトは、マイボトルを使用する
- ・国や地方の選挙に参加する
- ・できるだけ簡易包装の商品を選択する

▶職場でできること

- ・働きやすい職場づくりについてみんなで話し合う
- ・通勤は、なるべく徒歩や自転車、公共交通機関に
- ・労働者の権利を知る
- ・差別やハラスメント(嫌がらせ)行為を許さない職場づくりをする
- ・マイカップ、マイ箸を持参し、ごみを減らす

「持続可能な社会のために ナマケモノにもできるアクション・ガイド」(国際連合広報センター)を基に作成



未来を担う学びを創出 ～特色生かし魅力ある高校へ～

取り組み例

■データ活用で新しい農業を実現

【倉吉農業高等学校】

ロボットトラクターやセンサーを搭載した田植え機、カメラ付きドローン(無人航空機)など、最新鋭の農業機器を活用して学習します。メーカーの協力の下、豊富な実習で技術を習得するので、農業系大学への進学や就農などに生かせます。



作物の生育状態を確認するためドローン进行操作

■テレビゲームで対戦! 楽しく健康づくり

【日野高等学校】

ゲームを活用し、身体・認知機能の向上につながる介護の手法を学習します。音楽に合わせて太鼓をたたいたり、自動車レースで競ったり。ゲームを介して、生徒は介護の経験を積み、高齢者とのコミュニケーション能力を養うことができます。



高齢者施設での実践に向けて特訓する生徒

少子化や立地条件により県立高校への進学者が減少する昨今。県では、独自のカリキュラムが学べる魅力ある高校を目指し、各校の特色を生かした、さまざまな取り組みを進めています。その中で、先駆的な取り組みをしている3校を紹介します。

まずは、倉吉農業高等学校。豊かな自然に恵まれた絶好の環境で、ロボットや情報通信技術(ICT)を活用した「スマート農業」を学習している。次に日野高等学校では、高齢者との触れ合いやリハビリなどの介護手法として、テレビゲームを使った対戦型スポーツ(eスポーツ)を導入しています。生徒は「健康ゲーム指導士」の資格を取得。高齢化という地域の課題にも

積極的に挑戦しています。さらに倉吉東高等学校は、探究的に学び、より平和な世界を築くことに貢献する若者育成を目的とした国際的な教育プログラム(国際バカロレア)の認定校を目指しています。認定されれば山陰初となり、世界中の大学への入学資格が得られ、高校卒業後の進路の選択肢が広がります。鳥取県ならではの新しい学びは、未来を担う人材の育成にもつながっていきます。

わが家を「下宿」に 学びたいを応援!

県外から入学を希望する生徒の住まいと食事を提供する「ふるさとファミリー」制度への登録を募集しています。期間は3年間で、平日朝夕の食事提供のほか、生活の見守りを行って日常生活をサポート。受け入れ時には、準備金が県から支給されます。

☎ 県教育委員会事務局高等学校課
☎ 0857-26-7517 ☎ 0857-26-0408
<https://www.pref.tottori.lg.jp/252509.htm>



☎ 県教育委員会事務局高等学校課 ☎ 0857-26-7517 ☎ 0857-26-0408
✉ koutougakkou@pref.tottori.lg.jp <https://www.pref.tottori.lg.jp/273228.htm>





誰もが活躍できる社会目指す ～共同参画への計画策定～

計画の期間と重点目標

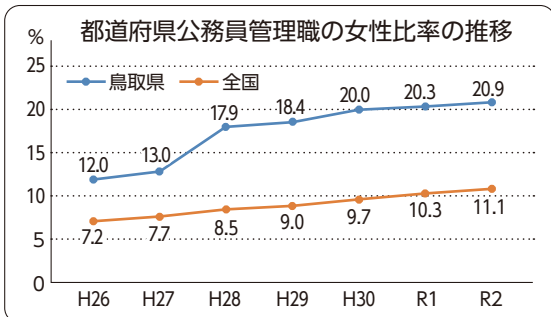
計画の期間は、2021年4月から26年3月まで。次の6つの項目を重点目標として設定しています。

- 1 働く場における女性の活躍推進
- 2 地域・社会活動における女性の活躍推進
- 3 生涯を通じた健康支援
- 4 誰もが安心して暮らせる環境整備
- 5 あらゆる暴力の根絶
- 6 男女共同参画の理解促進と未来の人材育成

県管理職の女性割合

積極的な女性登用により、県の管理職（課長級以上）に占める女性の割合は、20.9%（※）。国の調査では、2016（平成28）年から全国1位です。今後も、性別に関わりなく職員一人一人が家庭生活の充実を図りながら、能力を十分発揮できる職場づくりを進めます。

※知事部局、病院局、警察本部などを含めた県全体の数字



出典：2020年度「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」（内閣府）

問 県庁人事企画課

☎ 0857-26-7032 ☎ 0857-26-8140
<https://www.pref.tottori.lg.jp/255675.htm>



県は、「共に認めあい、互いに支えあい、誰もが活躍できる元氣な鳥取県」を目指し、「鳥取県性にかかわりなく誰もが共同参画できる社会づくり計画」を策定しました。

この計画は、男女共同参画社会基本法に基づき、性別によらず誰もが対等に活躍できる社会を実現するために都道府県ごとに定めるもの。2021年3月に終了する「第4次鳥取県男女共同参画計画」の成果や課題

などを踏まえて、さらなる取り組みを展開します。

第4次計画では、「子育て支援の拡充」や「働く場における女性の活躍」などで目標値を達成。一方で、男性の育児・家事時間は短く、育児休業取得率は低いままで。こうした状況の改善に向けて、6つの重点目標を掲げ、長時間労働の是正や気兼ねなく育児休業を取得できる環境整備の支援、子どもの頃から

の学びの推進による固定的な性別役割分担意識の解消などを進めます。

加えて、男女に限定されない性の多様性に配慮し、計画の名称を変更しました。

誰もが個性と能力を発揮し、活躍できる社会を実現するには、一人一人の理解と意識改革が不可欠です。家庭、地域、職場など、あらゆる場面で相手を理解し、尊重して、互いに助け合えるよう日頃の生活を振り返り、改めて考えてみるのが大切です。

これまでの成果と今後の目標

項目		第4次計画の数値目標	現状値	次期計画の数値目標
管理的職業従事者（係長級以上）に占める女性割合	従業員10人以上の事業所	25%	25.4%	30%
	従業員100人以上の事業所	30%	24.9%	30%
子育て世代包括支援センターの設置市町村数		19市町村	19市町村	—
6歳未満の子を持つ夫の育児・家事関連時間		全国平均以上 (全国平均83分/日)	76分/日	100分/日
民間企業における男性の育児休業取得率		15%	5.6%	30%
「社会通念・習慣・しきたり」などにおいて男女の地位が平等であると考える割合		50%	11.7%	50%



問 県庁女性活躍推進課 ☎ 0857-26-7077 ☎ 0857-26-8196

✉ jyousei-katsuyaku@pref.tottori.lg.jp <https://www.pref.tottori.lg.jp/32690.htm>





読者の声 (12月号の意見・感想から)

- 新型コロナの影響を受けて農家も苦しい状況ですが、特集を読んで若い人が頑張っていることに元気をもらいました。(20代)
- 「住まいの将来考えて」を読んで、今住んでいる家を将来的にどうするか、家族で話し合う機会を持ちたいです。(50代)

- 子どもを守る`とりのからあげ、が分かりやすかったです。インターネットの危険性と利便性の両方を子どもに教えていきたいです。(30代)
- 新型コロナの影響で仕事を探していたので、県立ハローワークの記事が役立ちました。(50代)

- 特集は、コロナ禍にタイムリーな記事。肉が好きなわが家も牛肉を食べて、県内の農家を応援したいです。(60代)



12月号には2,425人からご意見をいただきました。ありがとうございます。これからもご意見、ご感想をお待ちしています。



県産品プレゼント

応募締め切り 2月19日(金) 必着

鹿肉のブラッサート



(2個セット) [5名]

若桜町産の鹿肉を、北条ワインと県産の梨ジャム、野菜で煮込んだうま味たっぷりの赤ワイン煮です。滑らかな食感にするため、ソースは2度ろ過。こだわりの調理方法で2日以上かけて作られています。



問 ペペネーロイタリア館(鳥取市弥生町)
☎ 0857-27-4736 F 0857-27-4736

応募方法 クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、年齢と「県政だより」を読んだ感想・意見を書き、次のいずれかの方法でご応募ください。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。はがきなどに書かれた個人情報、感想・意見は、プレゼントの発送と「県政だより」記事作成の参考として使用し、これらの目的以外には使用しません。



- はがき 〒680-8570 鳥取県広報課「県産品プレゼント」
- 電子メール dayorip@pref.tottori.lg.jp
- 県ウェブページ応募フォーム
<https://www.pref.tottori.lg.jp/dayorip/>



誰もが活躍できる県を目指し、県は「鳥取県〇にかかわりなく誰もが共同参画できる社会づくり計画」を策定しました。〇に入る文字は次のうちどれでしょう。

ヒントは
6頁

①例 ②性 ③形

◎12月号のクイズの答えは「①気高」でした。



手話を覚えてみよう……「献血をしましょう」

献血者が減少しがちな冬季。血液製剤の安定供給に欠かせない献血を手話でも呼び掛けてみましょう。

「ち」を表す
指文字



右手で「ち」を表す指文字をつくり、左腕から手先に向かって手で下ろす



両手の指先を斜めに頭につけ合わせ、同時に前へ差し出す



両人さし指を左右に斜め前に出す

※手話の表現は一例です。

献血は、鳥取県赤十字血液センター、献血ルームひえづなどで受け付けています。

<https://www.bs.jrc.or.jp/csk/tottori/index.html>



監修／公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 ☎0859-30-3720 F 0859-30-3131 <https://torideaf.jp/>



きのこナゲット

キノコと白ネギの相性抜群のナゲット。具材は大きめに切るとかみ応えがアップします。

【協力】八頭町食生活改善推進員協議会

【材料】(2人分)

生シイタケ……………7個	揚げ油……………適量	
エリンギ……………75g	A	
白ネギ……………1/4本		すりおろしニンニク…1かけ
パン粉……………1/3カップ		しょうゆ……………小さじ3/4
小麦粉……………大さじ1		塩……………少々
		こしょう……………少々

歯・口腔の健康について

<https://www.pref.tottori.lg.jp/hanokenkou/>



【作り方】

- ①生シイタケ、エリンギは適当な大きさに切り、すり鉢またはビニール袋に入れてつぶす。
- ②①にみじん切りにした白ネギ、A、パン粉、小麦粉を加え、混ぜ合わせる。
- ③②を2つに分け、薄い円形に成形する。
- ④揚げ油を170度に熱し、③をこんがり揚げ上げる。

2020年4月から食べる力を育むレシピを掲載中。

消防団員を募集中

消防団は、普段は別の仕事をしながら、消火・救助活動、啓発活動などを行う地域住民で構成される組織です。団員には非常勤特別職の地方公務員として報酬や手当などが支給されます。入団資格や活動などの詳細は、お住まいの市町村役場へお問い合わせを。奮ってご応募ください。



☎ お住まいの市町村役場または県庁消防防災課
☎0857-26-7065 ☎0857-26-8139
<https://www.pref.tottori.lg.jp/281025.htm>



鹿児島県の特産品をお取寄せ

鹿児島県からのお知らせ

新型コロナの影響で販売機会が減少している特産品。販売促進を図るため、鹿児島県特産品協会の特設ウェブサイト「かごいろ」で特産品応援キャンペーンを実施しています。鹿児島県が誇る品をお取り寄せする絶好の機会、お見逃しなく。



☎ 公益社団法人鹿児島県特産品協会
☎099-223-9177 ☎099-227-0768
<https://kagotokunet.shop-pro.jp/>



お知らせ

広告

2021年 2月完成!

掲載企業数UP!
320社掲載!

最新の企業情報をいち早く!

とっとり企業ガイド2021

とっとり企業ガイドって…なに?

- ▶ 地元の元気な企業情報満載! 企業研究に最適な情報ツール!
- ▶ あなたの知らない魅力的な企業が見つかるかも!
- ▶ 企業の事業内容や雇用形態や先輩からのメッセージ等社風情報もゲット!

▼とっとり企業ガイド二次元バーコード

こちらからアクセス
とっとり企業ガイド

and...

冊子もあります!

就活中のみなさんに無料で差し上げます! 上記の申込フォームからどうぞ!

good!

お問い合わせ先 -----
(公財) ふるさと鳥取県定住機構
〒680-0846 鳥取市扇町115-1
鳥取駅前第一生命ビル1階
TEL:0857-24-4740 (受付:平日8:30-17:15)

広告

2月は

「相続登記はお済みですか月間」

相続登記は司法書士におまかせください

- 鳥取県内の司法書士が、2月中、各事務所にて相続登記に関する無料相談を実施します。
- 毎週月曜から金曜(午後1時~午後4時)の電話相談(☎0857-27-4165)を実施しています。

鳥取県司法書士会 検索

お問い合わせは 鳥取市西町1丁目314-1
鳥取県司法書士会 ☎0857-24-7013

※広告は広告主の責任において掲載しています。広告内容などを県が推奨するものではありません。